

アセットマネジメント部門

芝浦水再生センター上部利用事業

東京都下水道局

芝浦水再生センター周辺の全景



品川シーズンテラス



- 延床面積：約20万m²
- 32階（高さ151m）
- 国内最高水準の環境性能を有する

品川シーズンテラスの地下に整備

雨天時貯留池



- 降雨初期の特に汚れた下水を貯留（7万6千m³）
- センターの放流先の高浜運河・東京湾の水質改善に寄与

下水熱供給設備



PRポイント！

芝浦水再生センター上部利用事業は、国内で初めて下水道事業において立体都市計画制度を活用し、都心部に残された数少ない空間である下水道施設の上部を有効活用し、業務商業ビル「品川シーズンテラス」による賑わいと、緑豊かなオープンスペースを創出することで、まちづくりへの貢献を目指した事業です。

品川シーズンテラスには、下水熱、下水再生水等、下水道の資源を有効活用し、民間のノウハウを活用した省エネルギーシステムを導入することで、国内最高水準の環境性能を有しています。また、ビルの地下には、76,000 立方メートルの雨天時貯留池を整備し、放流先である運河への汚濁負荷の低減を図ります。

Key Person



開発計画推進
担当課長
永田 有利雄

事業実現に至るまでには、都市計画決定に向けた官公庁のまちづくり所管部署との事前協議や地元住民向けのワークショップの開催など、多くの関係先と密に調整を行い、合意形成に努めました。

また、下水道の本来の事業に支障を与えないように、建設、維持管理面から様々な工夫を凝らし、局一丸となって本事業の実現を図りました。